

アルミサンドイッチパネル製局舎
標準仕様書

平成 30 年 4 月

株式会社 東洋シエルター

1. 適用

本仕様書は、地上等に設置する機器収容箱に適用する。

2. 局舎概要

(1) 用途

通信設備、付帯装置の収納を目的とします。

(2) 適用規格

本局舎は次の規格・基準に基づき製造いたします。

- ・ 日本工業規格 (JIS)
- ・ 事業用電気通信設備の技術基準
- ・ 電気設備技術基準
- ・ 日本建築学会の構造関係の各基準、指針
- ・ その他関係法令等

(3) 環境条件

- ・ 外気温度 $-15^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$
- ・ 外気湿度 $30\% \sim 90\%$ (相対湿度)
- ・ 積 雪 1.0m以下

(4) 防水性・気密性

- ・ JIS-C-0920-4 等級 (IPX4) の防水性能試験を満足する性能とします。(吸排気口部の電動シャッターは閉じた状態) また、塵埃の浸入が無いよう、局舎全体を気密構造とします。(換気口部は除く)

(5) 断熱性

- ・ 局舎全体の平均熱貫流率を $1.0 \text{ kcal}/\text{m}^2 \text{ h}^{\circ}\text{C}$ 以下とします。

3. 局舎建物

(1) 寸法

外形寸法	①アルミ T S - A A	1400W×1200D×2550H
	②アルミ T S - A B	2000W×1800D×2550H
	③アルミ T S - A C	2600W×1800D×2550H
	④アルミ T S - A D	3200W×1800D×2550H

局舎の底・コーナーカバー及び換気扇フード等の外壁に取り付けるものは除きます。

(2) 構造形式

- ・屋根及び外壁パネルは、内部を枠組みした鉄骨と発泡断熱材で構成し、外板（カラーアルミ鋼板）と内板（カラーアルミ鋼板）により一体成型（サンドイッチ）したボードを使用しています。
- ・基本構造を工場組み立て構造とします。
- ・屋根は雨水の溜まらない構造とし、屋根中央の最高点から四辺方向に高低差をつけます。(2/100)

(3) 構造強度

- ・本局舎は、次の荷重・外力に耐える強度を有するものとします。

a) 耐風強度・・・・・・・・最大瞬間風速60 [m/s]

b) 屋根強度・・・・・・・・積雪1.0m以下に耐える構造とします。

※ご要望に応じて、積雪1.0m以上にも対応いたします。

c) 耐震性・・・・・・・・水平加速度1.0G 垂直加速度0.5G

d) 輸送、搬入時の強度

付帯設備を設置し、車両輸送等の振動により取付の緩みや破損が無いこととします。

(4) 各部の構造・仕上げ

a) 土台（チャンネルベース）

- ・材 料・・・・・・・・H鋼材 100×100×6/8 SS400
- ・仕 上 げ・・・・・・・・熔融亜鉛メッキ仕上げ（HDZ55）

b) 屋根及び外壁（断熱材充填サンドイッチパネル）

- ・厚 さ・・・・・・・・52mm
- ・断 熱 材・・・・・・・・難燃性フォーム
- ・外 板 材・・・・・・・・0.7mm（カラーアルミ鋼板）
- ・内 板 材・・・・・・・・0.7mm（カラーアルミ鋼板）
- ・仕 上 げ 色・・・・・・・・サンドホワイト色（5GY8.5/0.5）

c) 扉（上下にロックできるグレモン錠でセミエアタイト方式）

- ・厚 さ・・・・・・・・・・40 mm
- ・断 熱 材・・・・・・・・・・難燃性フォーム
- ・外 板 材・・・・・・・・・・0.7 mm（カラーアルミ鋼板）
- ・内 板 材・・・・・・・・・・0.7 mm（カラーアルミ鋼板）
- ・仕 上 げ 色・・・・・・・・・・サンドホワイト色（5GY8.5/0.5）

e) 塗装色（アクリルメラミン樹脂）

- ・外 面・・・・・・・・・・サンドホワイト色（5GY8.5/0.5）3分艶
- ・内 面・・・・・・・・・・サンドホワイト色（5GY8.5/0.5）3分艶